

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県津幡町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	津幡町文化遺産活用事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第五次津幡町総合計画（平成28年度策定）の「歴史・文化・伝統の継承と活用」という施策の方針に踏まえ、地域の文化遺産（獅子舞）の技術を次世代に伝承し、それを通して地域の活性化や、地域愛の醸成を育むため、下記の取組みを実施する。実施計画期間中は、下記の取組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>(1) 地区所在の伝統文化（獅子舞）の継承事業 (2) 地区所在の伝統文化（獅子舞）の後継者育成事業</p>			
6 実施体制			
委員長 石本喜一（津幡町文化財保護審議会会長） 副委員長 竹田 学（津幡町教育委員会教育部長） 理事 芝田 悟（津幡町文化財保護審議会副会長） 岩井嘉樹（津幡町文化財保護審議委員） 監査 宮崎 寿（津幡町教育委員会生涯教育課長） 専門委員会会長 宮嶋 茂（郷土芸能研究家・津幡町文化財保護審議委員） 事務局 戸谷邦隆（津幡町教育委員会生涯教育課文化財係長）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 11,938 千円	平成31年度申請額： 1,450 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
これまで担い手不足で停滞していた山間部にも用具等の整備が行われることによって、事業が推進されることとなった。また、各地区間の交流も盛んになり、隣接する複数の地域によって合同で獅子舞を披露する機会がつけられるなど、新たな展開が生まれている。また、保育園や小学校への出張講座なども行われており、幼少年層の獅子舞への理解や親近感は大きく増していると思われる。こうした事業は新聞にも報道され、活動が一般にも周知されつつある。こうした若年層への普及活動は、特に他市町からの流入家庭の多い当町にとって有効であり、その親世代に対する理解度の向上にもつながっている。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	各地区保存会が所属する地区からの協力金を自主財源とする。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現段階での具体的な策定の予定はないが、調査・研究を進めている所である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	津幡町教育委員会生涯教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	津幡町全域での祭礼行事等の保存団体数			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 10 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 11 団体					
設定根拠 1 :	これまで行っていなかった地域での新しい活動立ち上げを目指す					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体

